

豚舎の妊娠ストールフリーアワード



背景

- 世界の大半の場所で、繁殖用雌豚は妊娠期間の一部または全体を通して、個別ストールに閉じ込められています。妊娠中の繁殖用雌豚のウェルフェアに影響を及ぼす主要な問題には、拘束と不十分なスペースによる移動と休息の制限、もてあそべる材料と敷料の不足により餌探しと探索行動を行えないために、欲求不満と退屈がつのり、柵棒噛みなどの常同行動に帰結することが含まれます。
- 離乳時から分娩 1 週間前までの乾乳豚を群で飼育することに関連したウェルフェアの利点を強調する多くの証拠があります（Compassion の[科学的レビュー](#)を参照してください）。また、[EFSA による最近の報告](#)では、子豚の離乳後直ちに、雌豚を群飼育すべきであることを推奨しています。
- 2013 年 1 月以来、欧州連合では妊娠初期 4 週間後の繁殖用雌豚の群飼育が法的要件となっており、一方英国では、雌豚のストールは全面的に禁止されています。欧州委員会もまた 2023 年末までに、欧州連合で雌豚ストールを含め、全てのケージ使用を廃止する法案を提出することになっています。
- しかしながら、世界の他の地域では、繁殖用雌豚のウェルフェアを保護する法律がなく、しばしば妊娠中を通して個別の雌豚用ストールが使用されています。
- 加えて、多数の国では、懸念すべき多段式豚舎の建築および使用が行われており、特に最も目立つのが中国です。多段式畜舎は、非常に多くの動物を子を産めない過密な環境で拘束することに関連し、典型的で重大な動物ウェルフェアと健康における懸念をもたらします（Compassion の[立場表明](#)を参照してください）。
- 豚舎の妊娠ストールフリーアワードは、サプライチェーンで雌豚のストールを段階的に廃止し、多段式豚舎を持つ農場から調達しない道先を先導する会社を紹介するために設立されています。

豚舎の妊娠ストールフリーアワードの基準

私どもは会社に 5 年以内にサプライチェーンの全雌豚用ストールを廃止し、乾乳期間を通して（離乳直後から分娩前 1 週間まで、観察期間を含む）群飼育におきかえることを求めています。

短期間の拘束は、管理目的用（例：給餌と人工授精の実施）にのみ許可される可能性があります。しかしながら、1 回につきこれは 4 時間以下に制限すべきです。

雌豚ストールから、集積リスクが十分に管理されて雌豚のウェルフェアを最適化した群飼育への移行を成功させるためには、最小許容空間が 3 m²/雌豚で、十分なもてあそべる材料と敷料があり、一部の床がソリッドであることを強く推奨します。

会社は多段式畜舎を使用する農場から豚肉を調達してはなりません。これは、皆様が応募している、繁殖用豚と肉用豚の категория に適用されます。

会社は、雌豚ストールの段階的廃止を明瞭に期間を定めて公的に約束し、その進捗を毎年私どもに報告する必要があります。

皆様は 5 年以内に以下の条件を達成することを約束する必要があります：

- 乾乳期間中の拘束（雌豚ストール）なし*
- *離乳直後から分娩前 1 週間まで、管理目的用で最長 4 時間の短期間拘束は時折あり。

皆様は以下のための現行ポリシーを設ける必要があります：

- 多段式豚舎を持つ農場から調達しない

カテゴリー

以下の 1 つまたは複数のカテゴリーに応募できます：

- 新鮮な豚肉
- 新鮮なソーセージ
- 塩漬けおよび調理済みの肉
- 加工肉または成分